

報告③

山口文庫と図書館員
—図書館員からみた山口文庫—

高橋 則雄

目次

はじめに

1. 山口文庫と図書館
2. 分類する —セイ『経済學』（1950）の場合—
3. H. コントの蔵書印と登録番号

おわりに、補遺

はじめに

本稿は、「山口茂、山口文庫、J.-B. Say 一生き続ける知の遺産—」という統一テーマのもと、2017年11月16日（神奈川大学図書館視聴覚ホール）に開催されたセミナーにおいて報告した「山口文庫と図書館員」のレジュメである。

山口文庫（以下、特に強調する以外は「文庫」と略す。）については、これまで、旧蔵者である山口茂の追悼論文集『寸陰是惜八十年』^[1]や同窓会報『宮陵』^[2]などにおいて、同文庫に言及する記事が掲載されてきたが、文庫全体を俯瞰した蔵書構成や山口茂の研究と文庫との関係などについては、詳説されることはなかった。また、今回のセミナーの開催の契機となった、一部蔵書への注釈の書き込みや押印された蔵書印など、学術研究上の重要な事実についても、長い間、等閑視されてきた^[3]。

このセミナーでは、（1）山口文庫と図書館、（2）分類する —セイ『経済學』（1950）^[4]の場合—、（3）H. コント蔵書印の登録番号、という

^[1]『寸陰是惜八十年：山口茂先生追悼記念集』（山口茂先生追悼記念集編纂委員会、1975年）。

^[2]『宮陵』第20号、神奈川大学同窓会、1973年。

三つのテーマで報告する。第一に、文庫についての基本的な事項の確認をおこない、図書館への受入れから、利用、保存、管理等の図書館における同文庫の位置づけを確認し、日本十進分類法（N.D.C.）による蔵書構成の分析と研究動向との照合により旧蔵者の収集意図を探り、文庫が定置されたことによる図書館への影響、効果について確認する。

第二に、本セミナーの統一テーマとしてJ.-B.セイの著作が対象となっていることから、山口文庫に収録されている関連書『セイ『経済學』』を題材としつつ、図書館における分類手法の解説を通じて、山口茂のJ.-B.セイに対する評価を考察する。

第三に、文庫に収録されている、旧H.コント蔵書の蔵書印と登録番号の記載の有無について、資産としての評価額の変遷を分析、比較することにより、評価額が登録の有無に影響を与えていたかどうかを確認する。

1. 山口文庫と図書館

ここでは最初に、文庫のタイトル数や蔵書構成上の特色、保存状態など、同文庫に関しての基本的な事項を確認したい。

(1) 文庫の取扱 一受入、目録、配置、利用一

- ①受入 山口文庫として一括で受け入れ（1964年）、寄贈図書として確定（1966年）した後に、和書・洋書別の台帳に登録（1967-68年）されている。
- ②目録 図書館OPAC、『山口文庫目録』^[5]、『貴重図書目録（文庫の一部）』^[6]に収録されている。
- ③配置（保存） 図書館（横浜キャンパス）地下2階（書庫）の一画に配置、貴重書に指定されたものについては、貴重書庫に別置されている。
- ④利用 館内閲覧を許可、貴重書に指定されたものについ

[3] これらのJ.-B.セイによる注釈等に関する先行研究としては、Hiroshi Kitami, Ken Mizuta, 《Les notes de J.-B. Say sur l'édition originale de "Definitions in Political Economy" de T. R. Malthus》 *Bulletin of the Center for Historical social science literature*, vol.22, Tokyo, 2002, pp.2-7がある。

[4] 山口茂『セイ『経済學』』（春秋社、1950年）。

[5] 『神奈川大学所蔵山口文庫目録』（神奈川大学図書館、1978年）。

[6] 『古典逍遙 神奈川大学図書館貴重書目録』（神奈川大学図書館、1986年）。

ては、貴重書利用内規その他に基づいている。

(2) 文庫（洋書）の構成 —主題、言語— 計量書誌学 *bibliométrie* による分析

関係資料に掲載された山口茂および文庫に関する記事を整理し、山口茂の研究動向等を確認した上で、『山口文庫目録』に基づき主題とタイトル数の統計表を作成した。

①山口茂の研究動向等

「これらの書物を先生がいつ頃集められたか、くわしくお聞きしたことはない。主たる部分は、多分、外国留学中に買われたものと思われるが、その後もたゆまず集められたことを思わせるあとがある。収集の範囲は驚くほど広い。経済学はもとより、哲学、歴史学、法学にまでわたる。経済学についても、先生が専攻された金融論に比重がかかっているのはもちろんだが、それだけに偏ることはなく、ほとんどあらゆる領域にわたっている。(中略)ただ、一つだけ注目しておきたいのは、金融史、恐慌史に関する本が意外に多いことである。先生が問題を、つねに歴史的パースペクティブのなかでとらえようとされたことの現 [ママ] われだと私は思う」^[7] (吉田1973)

「<金融論の勉強は金融史の勉強からはじめなければならない。そしてその金融史の研究には恐慌史の研究から入るのが妥当である>、(中略)先生の学問体系の原理的経済学の面は、フランス古典経済学の影響のもとに構築されたものであり、政策的・歴史的経済学の面は、イギリス古典経済学の方法から学ばれたのではないかと思うのである。(中略) <わが国で外国経済理論をとりあげるにあたっては、その外国経済理論の基盤となっている経済事情がいかにして理論にまで構成されたかという事情およびその基盤としての経済事情そのものが先ず把握されることが必要である>、(中略)先生は、英仏古典経済学の体系がそうであったように、つねに歴史と理論と政策の三位一体の体系を追及され、それを生涯の学問的姿勢としておられたという

^[7] 吉田精一「『山口文庫』について」『宮陵』第20号、神奈川大学同窓会、1973年、8頁。

ことである」^[8] (船越1975)

「その時分は、フランが、本来ならば40銭、日本の昔の円の十分の四、40銭のフランが、バルーカの改正をいたしました後でも8銭位にしかあたらないときで、いわばフランの価値が五分の一に落ちているという時ですから、(以下、略)」^[9] (村松1975)

「先生の研究はケネー、アダム・スミス、リカード、J・B・セー、そして最近のケインズという方にだんだん降りてこられたわけですが、基本になっている考えは、フランス及びイギリスの古典派経済学の考え方が強い支柱になっています。(中略)ケインズ経済学やその金融論の影響が著しく強い時代に研究を進められる際に古典学派の素養という基礎的立場とケインズ経済学からの影響とを如何に調和させるかに大変苦心された(中略)古典派経済学とケインズ経済学の橋渡しをされる立場に山口先生の金融論はある」^[10] (吉野1985)

②文庫の分析

以上のような記事を参照しつつ、次に、『山口文庫目録』に収録された洋書を日本十進分類法(NDC)^[11]による分類に基づき統計表(タイトル数)^[12]としてまとめ、各分野内の細分項目の比率(%)を示す各種のグラフ①～⑧を作成し、分析する。併せて、これらの分析結果を上記①の研究動向等と照合することにより、山口茂の研究姿勢が同文庫にどのように反映されていたのかを確認する。

^[8] 船越経三「山口先生の学問と「山口文庫」について」『寸陰は惜八十年』、433、436-440頁。

^[9] 村松恒一郎「追悼の辞」『寸陰は惜八十年』、28頁。

^[10] 吉野昌甫「山口茂教授における金融論の学風」(橋間叢書、第40号)(一橋の学問を考える会、1985年)。http://jfn.josuikai.net/nendokai/dec-club/sinronbun/2005_Mokuji/Kyoumonsousyo/dai40gou/Yamaguti_Kinyuron.htm。(2017.10.30アクセス)

^[11] *Nippon Decimal Classification (N.D.C.) 7, new rev. ed.* 『日本十進分類表 新訂7版』(日本図書館協会、1961年)の英訳。

^[12] 添付資料「山口文庫統計表(洋書)」を参照。

- ①全体グラフ G1
 - ②経済分野グラフ G2
 - ③経済思想分野グラフ G3
 - ④通貨分野グラフ G4
 - ⑤金融分野グラフ G5
 - ⑥言語グラフ L1
 - ⑦言語（理論分野 [通貨／金融]）グラフ L2、L3
 - ⑧言語（政策分野 [通貨／金融]）グラフ L4、L5
- ※これらのグラフは、セミナー発表時にPPTで提示した。

以上の統計による分析結果から、次のことが明らかになった。

- ①洋書全体（971タイトル）では、社会科学分野が84%を占める。ちなみに、哲学5%、歴史は3%である。（参考、和書809タイトル）< =（吉田1973）>
- ②経済分野では、通貨（32%）、経済思想（29%）、金融（27%）の3分野が88%を占める。< =吉田、船越、吉野>
- ③経済思想分野では、古典派経済学派（47%）、前古典派経済学派（21%）、近代経済学派（20%）、歴史学派（10%）である。< =船越、吉野>
- ④通貨分野では、通貨政策（44%）、通貨理論（20%）、経済循環（恐慌論）（15%）という比率である。< =吉田>
- ⑤金融分野では、金融史（39%）、金融理論（16%）、市中銀行（10%）、中央銀行（9%）、金融市場（9%）という比率である。< =吉田、吉野>
- ⑥言語別資料の比率は、フランス語（51%）、英語（33%）、ドイツ語（16%）という比率である。< =船越>
- ⑦通貨と金融の理論分野における言語別比率は、通貨は英語（44%）、フランス語（31%）、ドイツ語（25%）、金融は英語（53%）フランス語（40%）、ドイツ語（7%）で、理論分野では通貨、金融ともに英語資料の比率が約半分を占めており、高い。< ≠船越、≡吉野>
- ⑧同じく、通貨と金融の政策分野における言語別比率は、通貨はフランス語（65%）、英語（20%）、ドイツ語（15%）、金融はフランス語（46%）、英語（31%）、ドイツ語（23%）で、理論分野とは反対

の傾向を示している。特に、通貨政策におけるフランス語の比重は65%とかなり高い。〈≠船越〉

以上、関連資料に掲載された記事との整合性を確認すると、上記グラフの①～⑥では、ほぼ一致している。しかし、⑦と⑧の通貨および金融の言語比率に関する言及と統計結果とは整合していない。この他、文庫に収録されている資料の収集に関するものとして、山口茂が留学中だけでなく、「その後もたゆまず集められたことを思わせるあとがある」（吉田1973）や山口茂の留学当時のフランスにおける急激なインフレが資料購入にとって僥倖となったという「いわばフランの価値が五分の一に落ちているという時です」（村松1975）という指摘も、文庫に収録されている多数の高額な資料の入手に関するひとつの証言として、注目されるべきであろう。

（3）基本図書構想の策定

1970年中頃における図書館蔵書数は3～40万冊台であった。吉田の「他に見るべきものがない」（吉田1973、8頁）という指摘は、他の多くの中規模私立大学の図書館と比べて見劣りする蔵書数ではないにしても、外れてはいなかった。それでも、和洋の蔵書構成比がほぼ均衡していたことが、学術研究を支える大学図書館としての矜持であったかもしれない。このような状況のなかで、蔵書の充実策として、「基本図書」の収集と拡充という構想が生まれた。学術の分野ごとに古典を主に、著作集、研究書を計画的に購入したのである。研究書の充実ということから、洋書が中心となった。これらの構想の核のひとつが「山口文庫」だったのである。和書についても、書評誌掲載図書や指定した学術出版社の図書を原則的として全点を購入するなど、学習用図書についても大幅に拡充する方針がとられた。（現在の蔵書数は約130万冊）

（4）予算（購入費）獲得の根拠として

社会科学分野において、当時、「見るべきもの」は山口文庫に収録されており、これらをさらに充実させること、不足している分野への補充が、研究機関にとり必要であるとの理由づけをおこなった。同時

に、機会ある度に、山口文庫の意義について言及した。

①貴重図書目録の序文（佐野正巳図書館長）

「本学図書館は、現代図書館に課せられた構造機能の充足につとめるとともに、歴代の館長とも、特に収書に関心をはらって今日にいたっている。（中略）昭和41年に寄贈された「山口文庫」をベースに、その後、幾多の貴重書、稀覯書を収集してきた結果、（後略）」

②貴重書目録の「内容解説」

「（前略）図書館には故山口茂教授から寄贈された「山口文庫」があり、ここには金融関係を中心とする英仏の主要な経済学者の著作、フランスの社会思想など、約1,300冊の洋書と和書約1,080冊が収められており、（中略）なお、当館における近代思想、経済学等の分野の貴重書収集はこの山口文庫に収められていた稀覯書を核として行われたと言っても過言ではない。」

(5) 成果1 古典（貴重書）の収集と充実

『山口文庫目録』を発行した1978年以降の約10年間に、1,000冊以上の古典（貴重書）を特別予算で購入した^[13]。

A. Smith, *An inquiry into the nature and causes of wealth of nations*. 1776. 2 vols. First ed.

B. Pascal, *Lettre écrite à un provincial par un des ses amis sur le sujet des disputes présentés de la Sorbonne*, 1656-57.

Encyclopédie de Diderot et d'Alembert. (1745-80. 35 vols.)

Encyclopédie méthodique. (1782-1832. 197 vols.)

Allgemeine encyklopädie der wissenschaften und künste in alphabetischer folge von genannten schriftstellern bearbeitet. (91 vols.)

... etc.

(6) 成果2 貴重書目録『古典逍遥』の発行と私立大学図書館協会賞の受賞

非常に短期間に収集した貴重書ではあったが、1986年に貴重書目録を発行し、私立大学図書館協会賞を受賞した。さらに、京都大学経済

^[13] 『図書館だより』第129号（神奈川大学図書館、2009年）、7頁。

学部の木崎先生より、「もっとも特筆すべきことは——、本書の冒頭に置かれた108ページにおよぶ解題であろう。本目録に収められた書物をたどりつつ構成されたこの解題は、これだけで、たとえば、百科辞典史、思想史、経済学史、等々をなしている。(中略)この解題は、これらの貴重書を最大限に有効に活用している」^[14] という書評記事が寄せられた。

2. 分類する —セイ『経済學』(1950)^[15]の場合—

図書館員は、分類にあたって日常的に次のような手順で作業を進める。

①著者(専門分野、経歴)／書名→②目次→③序文／あとがき／解説→④本文という順である。

多くの資料は、①と②の過程で、③まで進めば、ほぼ分類は可能である。ただし、R. ダーントン著『猫の大虐殺』^[16]のように、著者がよく知られるようになるまでは、①と②の過程では、「猫」(動物学)、「大虐殺」(動物愛護)に分類する可能性も否定できない。③と④まで進めば明らかになるのだが、適切な分類は、「フランス革命史(235.5)」である。

次に、上記の手法による分類作業の過程を、山口茂の著書『セイ『経済學』』にあてはめて、同書の資料上の意義と特色を確認する。上記①から③までの作業で概ね分類を確定することは可能だが、ここでは「序説」等に注目して、同書の意義と山口茂のJ-B. セイ像を明らかにする。

本文の中扉の裏面頁には、《Le premier livre de la moral est un bon traité d'économie politique. 道徳の第一の書はよき経済学書である》とい

^[14] 木崎喜代治「『古典逍遥』(書評)」『神奈川大学評論』3号(神奈川大学広報部、1988年)、77頁。

^[15] 山口茂「序説」『セイ『経済學』』(春秋社、1950年)。山口文庫は、「1950年版」(東京、春秋社、1950.12、2 [はしがき]、4 [目次]、205、8 [索引] p.18 cm)を収録しているが、他に、「1948年版」(東京、春秋社、1948.5、2.4.205.8 p.19 cm (春秋社経済學選書))がある。50年版は実質的には48年版の再版で、本書の需要の高さを物語っている。

^[16] R.Darnton, *The great cat massacre and the episodes in French cultural history*, New York, 1984; R. ダーントン(海保真夫、鷺見洋一共訳)『猫の大虐殺』(岩波書店、1986年)。

うエピグラフが印刷されている

「その時三浦先生〔三浦新七〕の与えられた問題は、その頃の英仏独の考え方の比較であって、私に与えられた問題がセイを通じて当時の仏蘭西の考え方乃至仏蘭西経済学の特質を把むことであった。先生はスミスの経済学が体系なき体系であったのが、セイによって初めて体系ある体系をもち得た筈であるとして、私にそれを見出すべく勉強せよと命ぜられたのであった。」(はしがき、1頁)

フランス語訳(高橋則雄訳)《À ce moment-là (vers 1923), la question qui nous a été posée par le professeur Shinshichi Miura était de comparer la façon de penser en Angleterre, en France et en Allemagne à l'époque et celle qui m'a été posée consistait à saisir la manière de penser en France et les caractéristiques de la science économique française par l'intermédiaire de Jean Baptiste Say. Le professeur a fait remarquer que tandis que l'économie de A. Smith constituait un système qui manquait de structure logiquement construite, J.-B.Say a établi un système qui présentait la structure logiquement construite pour la première fois, et il m'a demandé d'entreprendre des études à des fins de clarification.》(Introduction, p.1, tr. par Norio Takahashi)

「セイの経済学に対する批判は多くスミスとの関係において、独創性があるとかないとかの点にのみふれているに過ぎないものが多い」(id、2頁)

《Beaucoup de critiques à l'égard de l'économie de J.-B.Say ne signalent que le point pour savoir s'il s'agit de l'économie avec l'originalité ou non par rapport à l'économie de A. Smith.》(Id., p.2)

「ジャン・バティスト・セイを理解し得たとなすには、彼の意識的並びに無意識的なる方法をそのシステムとの関連において把握することが必要である。(中略)そこで吾々の最初にとりあげなければならないことは彼の意識的なる方法である。(中略)即ちセイは経済学と政治学とを分離し、且つ経済学と後に発展した商業学乃至経営学とを分離し、以て古典経済学と近代理論経済学乃至純粹経済学の素地を作ったものと見ることができる。しかもこの意識的な方法は彼の経済学の叙述を通して完全に活かしていることが発見せられるであろう」(序説2、経済学方法、14-16頁)

フランス語訳（高橋）《Pour comprendre J.-B.Say, il est nécessaire de saisir ses méthodes, conscientes et inconscientes, concernant le système. Donc, la première chose que nous devons relever est ses méthodes conscientes. Autrement dit, J.-B.Say a considéré séparément les deux questions, la science économique et la science politique, et également la science économique et les sciences commerciales, les sciences de gestion qui seraient développées plus tard, par conséquent on peut penser que ce procédé a créé une base de l'économie classique et de l'économie théorique moderne ou de l'économie pure. De plus, on s'aperçoit que ces méthodes conscientes sont particulièrement mises en valeur dans son discours sur la science économique.》(*Discours préliminaire*, pp.14-16, tr. par N. Takahashi)

「彼の序論 [*Discours préliminaire, Traité d'économie politique*] に於いて示した方法の第二は経済学研究方法である。ここに彼はベーコン (Bacon) 以来他の凡 [ママ] ゆる科学の進歩に多大の貢献をなした研究方法を経済学にも応用せんとしたのであった。(中略) 右に紹介したセイの経済学研究方法はベーコンの方法により、近代科学に於ける方法意識を以てなりたっていることがわかる。そしてその方法は、ケネー或は英国古典派に於けると異って臆説を排斥せんとする積極的な科学意識の上にたっていることは、学説史上特に留意しなければならない点である。学説史上セイを目してスミスの普及版なりと低評価する学者もあるが、経済学理論の内容がもし似たものであるとしても、序論に於いて右の如き研究方法を積極的に主張していることは、経済学の性格意味を一変せしめたものと解せざるを得ない。そこにこそ彼の学説史上の地位があり、後に評論する如く私はセイに於いて始 [ママ] めて学問としての体系を持ち得たと考えるのであり、時論としての経済問題が学問としての経済学になったのであると考える」(Id., 16, 17, 20頁)

フランス語訳（高橋）《La deuxième méthode qu'il a présentée dans le *Discours préliminaire du Traité d'économie politique* est une méthode sur les études de l'économie. Ici, il a essayé, en commençant par la méthode de F. Bacon, à appliquer à l'économie les méthodes sur les

études qui avaient apporté une riche contribution au progrès de toute la science. Cette démarche des études de l'économie, basée sur la méthode de F. Bacon, montre qu'elle est composée de la conscience méthodologique de la science moderne. Et dans l'histoire doctrinale, on doit faire attention particulièrement à ce que cette méthode soit différente de celle de F. Quesnay ou de l'école classique au Royaume-Uni, et qu'elle exclue l'hypothèse et se fonde sur la conscience scientifique active. Au sujet de la méthode de J.-B.Say, certains savants l'estiment en-dessous de sa valeur comme l'édition populaire de A. Smith, mais même si le contenu de la théorie économique est similaire, on doit comprendre que son assertion active de la méthode des études dans le *Discours préliminaire* a complètement changé le caractère et la signification de l'économie. Je considère que c'est justement la position qu'il occupe dans l'histoire doctrinale et ainsi que je l'expliquerai plus tard, l'économie s'est vue capable de disposer d'un système comme la science pour la première fois par J.-B.Say, et le problème économique en tant qu'argument temporaire est devenu la science économique.》(Id., pp.16, 17, 20, tr. par N. Takahashi)

以上から、山口茂は、J.-B. セイが『経済学概論』の序論で自ら述べているように、科学的方法によって経済問題を扱っていることを独創性として評価し、A. スミスとはこの点において違いがあると指摘している。J.-B. セイによる同研究方法は、経済学の意味を一変させ、学問としての経済学を成立させたと、山口茂は述べている。本書の分類は、「経済思想—古典学派 (331.4)」となる。

3. H. コントの蔵書印と登録番号

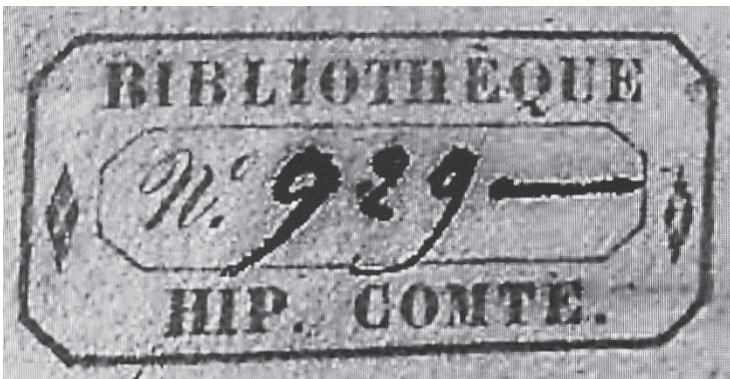
山口文庫は、H. コント (Hippolyte Comte)^[17] の蔵書印がある洋書を20タイトル収録している^[18]。これらの洋書に押印された蔵書印は、印の枠内に登録番号の記入欄があり、登録番号のあるもの(2タイトル)と空欄

^[17] H. コント (Hippolyte Comte, 1821-80) は、J.-B. セイの孫で、J.-B. セイが所蔵していた書籍の多くを相続したとされており、フランス法曹、産業界で活動した。

のもの（18タイトル）がある。本稿では、登録番号の有無について、その要因を所蔵者（H. コント）の嗜好や当時（H. コントが所蔵していた19世紀前半）の資産としての価値との関連を探るため、当時の価格を調査した。

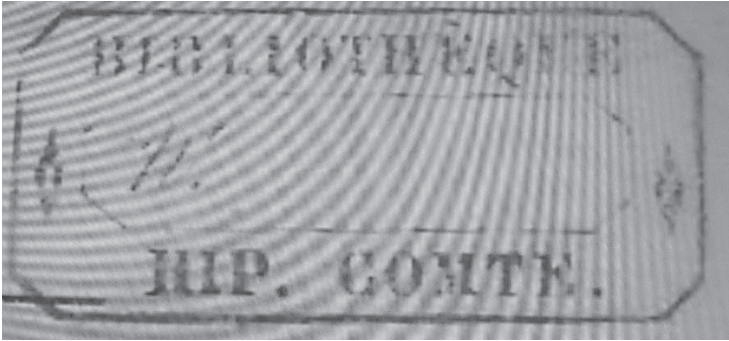
登録番号の有（白地○数字）無（黒地●数字）は、以下の資料に見られた。主題からみると、哲学、法哲学、倫理学分野に近い資料に登録番号が記入されており、経済学分野の資料は皆無である。

- ① G. de Lévis, *Maximes et réflexions sur différents sujets de morale et de politique*. 2. ed. (1808), cachet no. 929.
 - ② Charles Louis de Secondat Montesquieu, *Oeuvres de Montesquieu*. 8 vols. (1822), cachet nos. 348-355.
 - ③ C. Ganilh, *Des systèmes d'économie, de …* (1809)
 - ④ T.R.Malthus, *An essay on the principle of population*. 5. ed. 3 vols. (1817)
 - ⑤ J.-M.-J. Dubois-Aymé, *Examen de quelques questions d'économie politique …* (1823)
- ① G.de Lévis の著作に押印されている H. コント蔵書印（登録番号929）



^[18] 本蔵書印の調査は、本学経済学部出雲雅志教授とその指導の下で学生たちによりおこなわれ、確定し（2015年12月15日）、図書館資料サービス課荏原直子さんの協力を得た。

④ T.R.Malthus の著作に押印されている同蔵書印（登録番号なし）



- ⑥ J.C.L.S. de Sismondi, *Nouveaux principes d' économie politique, ou ...* 2 éd. 2vols. (1827)
etc.

当時の価格を調査するにあたり、Ch.ブリュネの『書籍商と本愛好家のマニュアル』^[19]（1810年—）を参照した。なお、現在の価格と対照するために、インターネット市場における古書価格を、各サイト ABE Books, A. Geritz, e-Bay, (internet, oct.-nov. 2017) により調査し、資料の価格の変遷と比較をおこなった。

① Lévis,	Ch.Br.X	eur 150 ¥20,000 (2017)
② Montesquieu	Ch.B. 24-27 fr.	eur 1,320 ¥180,000 (2017)
③ Ganilh	Ch.Br.X	eur 1,400 ¥193,000 (2017)
④ T.R.Malthus	Ch.Br. 6. ed. (1825), 12-15 fr.	eur 1,155 ¥150,000 (2017)
⑤ J.-M.-J.Dubois-Aymé	Ch.Br. X	eur 864 ¥115,000 (2017)
⑥ J.C.L.S. de Sismondi	Ch.Br. X	eur 2,250 ¥310,000 (2017)

しかし、上記の結果にみるように、H.コントの蔵書印があるものが、Ch.ブリュネのマニュアルではなかなかヒットしない。そこで、山口文庫に収録されているJ.-B.セイの主著（下記の2タイトル）へ調査の範囲を広げた。

^[19] Ch. Brunet, *Manuel du libraire et de l'amateur de livres*. (1810—).

J.-B.Say, *Traité d'économie politique*, ... (4. éd.) Ch.Br. (5. éd., 15 fr) 5. éd.=eur 635 ¥85,000

Id., *Mélanges et correspondance d'économie politique*. (1833) Ch.Br. 7 fr.50c. eur 525 ¥73,000

以上の調査の結果を一覧表にすると、次のようになる。

	H.Comte		Ch. Brunet 1810-	ABE books, etc.	
	stam p	no.		oct.-nov., 2017	
Lévis	○	929	–	eur 150	¥20,00
Montesquieu	○	348-355	24-27 fr.	eur 1,320	¥180,000
Ganilh	○	–	–	eur 1,400	¥193,000
Malthus 5. ed.	○	–	6-ed., 12-15 fr.	eur 1,155	¥150,000
Dubois-Aymé	○	–	–	eur 864	¥115,000
Sismondi	○	–	–	eur 2,250	¥310,000
Say, <i>Traité</i> 4. ed.	–	–	5.éd., 15 fr.	5.éd=eur 635	¥85,000
Say, <i>Mélanges</i>	–	–	7 fr.50 c.	eur 525	¥73,000

今日では学術の分野における古典という資料価値と市場価格が認められている経済学関係の稀覯書も、19世紀初期から中期においては古典という範疇に入らず、現在ほどの市場価値も認められていなかったようである。むしろ、モンテスキューのように著名な思想家の著書の評価が固定し、高価であったものと推察される。また、愛蔵書という観点からも、学術書は一般的な対象とはなりにくかった可能性もある。これらの要因が登録簿への登録と登録番号の付与の際の判断に影響を与えていたと考えられる。

おわりに、補遺

最後に、本稿全体を総括したい。

最初の報告テーマである「山口文庫と図書館」では、同文庫についての基本的な事項という、従来はあまり意識的に取り扱われてこなかったことを三省するとともに、同文庫受入れ後の図書館における資料収集への影響などについて確認し、計量書誌学の分析手法によって、山口茂とその研究姿勢に対してみられた従来の言及と文庫の蔵書構成がほぼ一致していることを明らかにした。このことから、資料の収集にあたって山口茂は、収集

の時点の問題意識と併せて、将来の研究を見据えながら収集を図っていたものと推察される。すなわち、山口茂の研究姿勢、著作、文庫が密接に相関していたことが想定される。この点で、著作における資料の引用などに関する調査、分析が今後の課題となる。

第二に、セイ『経済學』の「序説」を通して、図書館における資料の分類手法を紹介し、その妥当性を確認したが、他の主著についても調査を進めることにより、文庫に対する評価を、静的な稀観書コレクションという枠を超えるものとするのが期待される。

第三に、H. コントの蔵書印の様態に関する考察を通じて、資料の資産評価額の時間的変遷と日仏間の共通点・相違点を確認した。文庫には、J-B. セイ関連の資料以外にも注釈や蔵書印、蔵書票を有し、古典籍として扱われるべき資料が収録されている。学術研究、書誌学、文献学等からの多面的な調査が望まれる。

セミナーでは触れることができなかったが、本発表に際して文庫を調査する中で、強く関心を引かれることがあったので、簡単に報告しておきたい。

それは、1942年8月18日、山口茂が大蔵省外資局共栄圏財政金融調査協議会へ提出した報告書の件である。この報告書は、「山口委員報告」として同協議会へ提出された経緯が、鈴木芳徳「資料紹介」において解題、紹介されている^[20]。この解題の冒頭で、鈴木は「ここに紹介するのは、山口茂博士が昭和17年8月に大蔵省外資局で報告されたく支那貨幣の性格と銀行券の問題>に関する報告である」と述べている。時局を反映したテーマを扱う報告書として興味をひかれ、調査をすすめたところ以下のようなことを確認することができた。

1945年1月に、『支那貨幣の性格と銀行券の問題』という書名の小冊子が、東京産業大學東亞經濟研究所^[21]から、謄写版印刷で発行されている。表紙には、「昭和20年1月23日、研究報告第1輯」として、著者山口茂の名に「東亞經濟研究所員、經濟學博士」の職名が付されている。全体は、

^[20] 鈴木芳徳「資料紹介」『[神奈川大学] 商経論叢』第38巻第3号、2003年、111-130頁。

^[21] 東京産業大學東亞經濟研究所の「東京産業大学」とは「東京商科大学」（現、一橋大学）であり、同書刊行の前年（1944年9月）、文部省の指導により改称された。

表紙（1頁）、目次（1頁）、本文（41頁）から構成されている。内容としては、中国における通貨事情、日本の対中国通貨政策について述べており、前記の「山口委員報告」と共通したテーマを扱っているとはいえ、まったく別の著作である。

発行部数は不明だが、現在の所蔵機関は少なく、ciniiの検索では、東京大学東洋文化研究所図書室、一橋大学経済研究所資料室、法政大学図書館、滋賀大学附属図書館、山口大学図書館総合図書館と国立国会図書館の6機関がヒットするのみである。「山口茂博士著作目録」^[22]、「一橋大学図書館所蔵、山口茂関連資料」^[23]、「山口文庫」のいずれにも収録されていない。

各書誌や山口文庫に収録されなかった理由は、さまざまな可能性が考えられるが、ここでは以上のような報告にとどめておきたい。

最後に、本稿の執筆にあたって、多くのご教示をいただいた神奈川大学図書館レファレンスご担当の大橋礼子さんに感謝申し上げます。

日本十進分類法 新訂7版

Nippon Decimal Classification (N.D.C.)

7. new rev. Ed.

000

010	Generalities	500	Engineering. Technology
020	Libraries. Library science	510	Civil engineering
030	Books. Bibliography	520	Architecture. Building
040	General encyclopedias	530	Mechanical engineering
050	General collected essays	540	Electrical engineering
060	Serials. Periodicals	550	Naval engineering
070	General societies. Academies	560	Mining and metallurgy
080	Newspapers. Journalism	570	Chemical technology
090	Collected works. Complete works	580	Manufactures
		590	Domestic science

^[22] 「山口茂博士著作目録」『寸陰是惜八十年』、500-508頁。

^[23] <https://www.lib.hit-u.ac.jp/service/tenji/bunken/yamaguchi-shigeru.html>. (2017.10.17アクセス)

100 Philosophy	600 Industry
110 Special treatises on philosophy	610 Agriculture
120 Oriental thought	620 Horticulture
130 Western philosophy	630 Sericulture. Silk industry
140 Psychology	640 Animal husbandry. Animal industries
150 Ethics. Morals	650 Forestry
160 Religion	660 Fisheries
170 Shintoism	670 Commerce
180 Buddhism	680 Transportation services
190 Christianity	690 Communication services
200 History	700 The arts. Fine arts
210 Japan	710 Sculpture. Plastic arts
220 Asia	720 Painting. Pictorial arts
230 Europe	730 Engraving. Prints
240 Africa	740 Photography
250 North America	750 Industrial arts. Arts and crafts
260 South America	760 Music. Dance
270 Oceania	770 Theater. Dramatic arts
280 Biography	780 Sports and physical training
290 Geography	790 Indoor games and amusements
300 Social sciences	800 Linguistics. Science of language
310 Political science	810 Japanese
320 Law	820 Chinese
330 Economics	830 English
340 Public finance	840 German
350 Statistics	850 French
360 Sociology. Social problems	860 Spanish
370 Education	870 Italian
380 Manners and customs. Folklore	880 Russian
390 National defence. Military science	890 Other minor languages
400 Natural science	900 Literature
410 Mathematics	910 Japanese literature
420 Physics	920 Chinese literature
430 Chemistry	930 English and American literature
440 Astronomy	940 German literature
450 Earth sciences. Geology	950 French literature
460 Biology	960 Spanish literature
470 Botany	970 Italian literature
480 Zoology	980 Russian literature
490 Medical sciences	990 Literatures of other languages

山口文庫統計表（洋書）

NDC 7.new rev. ed. for Kanagawa Univ. Lib.		FOREIGN books								JAPANESE books
		010	100	1000 (ec.)	1000<	language (fr.)	lang. (eng.)	lang. (ger.)	other langs	
000 general works		20								6
010	libraries, library science		1		1		1			
020	books, bibliography		12		12	2	4	6		3
030	general encyclopedias		1		1		1			
040	collected essays		4		4	1	2	1		
050	serials, periodicals		2		2	1	1			3
100 philosophy		47								16
110	special treatises, philosophy in general		5		5	3	2			5
120	oriental thought									1
130			37							
130	wester philosophy in general				5	5				2
133	british philosophy				15		15			
134	german philosophy									1
135	french and dutch philosophy				17	17				2
140	psycology									1
150	ethics, morals		2		2	1	1			1
170	shintoisim									1
180	buddhism									1
190	christianity		3		3	3				1
200 history		26								10
200	history in general									1
230			19							
230	europa in general				5	3	1	1		1
235	France				14	13		1		
280	biography									8
290	geography		7		7	1	5		1 (it.)	
300 social sciences		819								743
300			25							
300	social science in general				5	3	1	1		5
309	social thoughts				20	19	1			
310	political thoughts		19		19	9	7	3		12
320	law		6		6	3		3		44
330	economics		732							556
330	economics in general			22	22	12	10			17
331	economic theory and thought in general			215	12	3	6	3		24
331.1	philosophy of political economy				31	15	9	7		2
331.19	mathematical economics				1	1				9
331.2	history of economic thought				18	11	5	2		12
331.3	pre-classical school				26	23	2	1		2
331.4	classical school				59	33	22	4		14
331.5	historical school				13	4	1	8		6
331.6	marxian school				2	1	1			1
331.7	modern economy theory				25	2	18	5		44
331.8	special treatises on economics				25	4	19	2		25
331.9	statistics				3	1	2			2
332	economic history, system, conditions			27	27	9	14	4		37
333	economic policy			7	7	1	4	2		48
334	population			2	2	1	1			3
335	enterprise and management			9	9	3	4	2		42
336	business management									63
337	money and currency			234		122	65	47		
337.1	monetary theories				48	15	21	12		21

337.2	monetary history, system, conditions			28	22	4	2		5
337.3	monetary policy			103	67	21	15		12
337.4	paper money			1	1				1
337.7	foreign exchange			16	7	9			7
337.8	prices			4	1	2	1		9
337.9	business cycles			34	9	8	17		16
338	private finance, Banks and banking		194						
338	private finance in general								10
338.01	financial theories			30	12	16	2		18
338.03	reference books			2	1	1			1
338.04	essays			1		1			7
338.05	serials, periodicals								2
338.06	academic bodies								2
338.08	collected works								3
338.1	funds, Financial market			17	8	7	2		9
338.2	history of finance			78	48	23	4		20
338.3	financial policy			13	6	4	3		10
338.4	central banks			17	8	7	2		5
338.5	bank management			11	6	1	4		11
338.6	private banks			20	14		6		2
338.7	medium and small banks			4	1	1	2		2
338.8	trusts and trust companies			1		1			2
338.9	international finance			3	1	1	1		10
339	public finance		22	22	18	4			17
340	industry (economics)	2		2	1		1		15
350	commerce	16		16	6	10			86
360	sociology, social problems	15		15	7	7	1		16
370	education	4		4	1	3			8
390	national defence, military science								1
400	natural sciences	3							9
402	natural sciences histoy								1
410	mathematics	2		2		2			3
420	physics								3
430	chemistry								1
490	medical science		1		1	1			1
500	engineering, technology	1							6
509	engineering, technology in general								5
520	architecture, building	1		1		1			
560	mining and metallurgy								1
700	arts	7	7	7	3	3	1		
800	language	26							7
809	language in general								1
810	japanese								2
840	german	14		14	3	5	6		2
850	french	7		7	7				1
870	italian	3		3	3				1
892	latin	2		2	2				
900	literature	22							12
900		1							
909	literature in general			1		1			
910	japanese literature								9
920	chinese literature								1
930	english literature								1
940	german literature	17		17	3		14		1
950	french literature	4		4	4				
				971 titles	494	323	153	1	809 titles